北海道遺産だより

NPO 法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.24
2020 年 2 月 20 日発行

報告 1 ― 令和元年度北海道遺産交流会議を開催しました

令和元年度北海道遺産交流会議「北海道遺産サミット」を 12 月５日（木）に開催しました。

今年の交流会議は、今年度の、「ほっかいどう遺産ＷＡＯＮ」助成金活動団体５団体、伊藤園「お茶で北海道を美しく。」キャンペーン助成金活動団体２団体、地域活動報告団体２団体の計９団体の皆様にご参加いただき、地域で展開されている様々な事例をご紹介いただきました。

活動報告団体には、北海道遺産を次世代に繋いでいく活動のテーマに合わせて３つのグループに分かれてご報告とディスカッションをしていただき、それぞれの団体ならではの遺産の価値の伝え方や、持続可能な活動のコツなどを聞くことができました。

最後に、ディスカッションのコーディネートを務めた、北海道遺産協議会・池ノ上理事から、協議会がスタートさせた「ヘリテージラボ」の取組について、今後の展開をご説明し、担い手の皆様の参加を呼びかけました。





■地域活動報告・ディスカッション

〇価値発見セッション：価値の気付きとシェア
- NPO 法人天塩川を清流にする会　米田孝利 様
- NPO 法人増毛山道の会　事務局長　小杉忠利 様
- 新ひだか国際馬力綱引き実行委員会　実行運営部長　石黒健治 様

〇価値創造セッション：誰にどのように価値を提供するか
- すながわマラニック大会実行委員会（砂川市観光協会事務局長）　山下克己 様
- 一般社団法人稚内観光協会　事務局長　中井基嗣 様
- 北海道和種馬保存協会　事務局長　白井興一 様

〇持続可能性の追求セッション：遺産価値の気付きとシェアの連鎖の仕組みづくり
- 利尻しまじゅうエコミュージアム　事務局長　関光徳 様
- 遠軽町役場丸瀬布総合支所　産業課主幹　小山信芳 様
- 標茶町博物館　学芸係長　坪岡始 様

＜コーディネーター・聞き役＞

池ノ上 真一（北海道遺産協議会理事　札幌国際大学観光学部教授）

福津京子さん（『札幌人図鑑』主宰）

報告 2 「北海道遺産フォトコンテスト 2019」入選作

今年度も応募数 140 件という多数のご応募をいただきました。いずれも素晴らしい作品ばかりで、選考は大変厳しいものになりましたが、グランプリ１点、準グランプリ２点、入選作品 20 点が選ばれました。ご応募いただいた皆様、ありがとうございました。



◇グランプリ 「開拓の歴史を伝えて
ー札幌軟石採堀場跡地」



◇準グランプリ 「朝陽に染まる」



◇準グランプリ 「厳冬の朝」

◇入選作品



「雪も積もらぬ地獄谷」



「精農寮の秋」



「春満開」



「千島ざくらとメジロ」



「大河夕景」



「タウシュベツ川橋梁の春」



「棲み処」



「宗谷丘陵」



「冬を走る」



「利尻富士を眺め営む」



「豊漁を祈って」



「摩周の日出」



「月と防波堤ドーム」



「積丹の春」



「脈々と息づく」



「夕焼けに染まる橋」



「松前城と夜桜」



「厳冬の石狩川」



「いつも一緒」



「ナラワラの朝霧」

報告３　北海道ヘリテージトークラウンジを開催しました





10月14日（月・祝）に、北海道ヘリテージトークラウンジの５回目を実施しました。今回は、札幌オオドオリ大学との共同開催で、フィールドに出てまちの魅力を体感しながらのまち歩きを行いました。

講師に、（株）北海道アルバイト情報社「マチ歩き BOOK 歩（ほ）らいぶ」編集長の木田さんをお迎えし、まちを人に伝える・編集するためのコツ、まちの人の魅力を引きだすコツを伺いながら、サツエキ北エリアを散策。その後、参加者それぞれの視点でまちの魅力を探しながら、北18条界隈までまちあるきを楽しみました。札幌農学校第２農場では、普段あまり足を踏み入れることのない大学構内に北海道遺産があることを知り、改めて地域の歴史を感じていただけたようです。

最後はUNTAPPED HOSTELに集合し、皆さんのまちみつけを発表していただきました。様々な視点のまちの楽しみをみんなで共有できた一日でした。

野外での活動でしたが、まちを歩くことが大好きな皆さまのご参加で楽しく無事に実施することができました。ご参加の皆様ありがとうございました。

報告４　ヘリテージラボオープンラボを開催しました





地域の担い手の知識の共有、情報交換や専門家との共創、ネットワークづくりの場として昨年度から取組をスタートした「北海道ヘリテージラボ」。その第１回オープンラボを、11月４日（月・祝）に実施しました。

今回は、研究者や学芸員の立場で文化財や地域資産を保存・継承する活動に長年携わっている、小樽商科大学・高野宏康さん、釧路市立博物館・石川孝織さんのおふたりにお越しいただき、地域における歴史や文化の収集・保存・継承について話題提供をいただきました。

当日は、定員を超える多くの皆様にご参加いただき、会場の皆様も含めたクロストークでは、話題提供のおふたりへの質問や、参加の方の活動について伺うことができ、予定時間を超えて熱心な意見交換がされました。終了後の交流会も、初めて北海道遺産の取組に足を運んでくださった方々とも交流でき、地域の文化や歴史、それにまつわるモノやコトを丁寧に見つめ、伝えていくことについてそれぞれの想いを共有することができました。

ヘリテージラボでは、今後も広く皆様にご参加いただく「オープンラボ」や、担い手の研究と実践、ネットワークづくりのためのテーマ別の取組などを実施したいと思っていますので、ぜひご参加ください。

報告 5　北海道遺産ヘリテージウィークを開催しました

11 月６日（水）、７日（木）に、札幌駅前通地下歩行空間で「北海道ヘリテージウィーク 2019」を開催しました。今年も、北海道遺産フォトコンテスト 2019 の入選作品の展示と 67 件になった北海道遺産のパネル展示を行いました。

フォトコンテスト入選の素晴らしい作品の数々を多くの方に観ていただくことができ、北海道遺産の魅力を充分に伝えることができたようです。

また、67 件の遺産パネルをみて、住んでいた、訪れたことがある、と多くの方の思い出もお聞きすることができました。



お知らせ　北海道遺産のパンフレット棚を中央バス札幌ターミナルに設置

北海道庁赤れんが庁舎２階に設置されていた、北海道遺産のパンフレット棚を、赤れんが庁舎のリニューアル工事にともない、中央バス札幌ターミナル（札幌市中央区大通東１丁目）の２階に移動いたしました。北海道遺産地域の皆様のパンフレットを置くことができますので、ぜひＰＲにご活用ください。設置のご希望は事務局までご連絡ください。

北海道中央バス（株）様、（株）シィービーツアーズ様、設置のご協力ありがとうございます。



このパンフレット棚は平成 27 年度道産子感謝 Day（サッポロビール㈱様）の寄付金により制作したものです

事務局だより

事務局から　今年度も北海道遺産活動ありがとうございました

ヘリテージラボがいよいよ始動しました。若手理事の発案で立ち上げた、担い手の方々とともに作る取組です。テーマ別のワーキンググループなどを検討していますが、参加してみたい取組テーマなどがありましたらぜひご意見をいただけると嬉しいです。

今年度は、67 件になってスタートした 2019 年度でした。遺産の件数は増えたけれど、少ない事務局員でも事業を進めていくことができるのは、各寄附企業の皆様のご協力や理事の皆様のご協力はもちろんのこと、スタンプラリーや、トークラウンジ、オープンラボなどで連携してくださった皆様、年間を通じての問合せや交流会議などでも臨機応変にご対応くださる担い手の皆様のおかげです。今年度もありがとうございました！

NPO 法人 北海道遺産協議会
〒０６０－００４１　北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１ 第３６桂和ビル７階
（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
TEL：０１１－２１８－２８５８　FAX：０１１－２３２－４９１８　E-mail：info@hokkaidoisan.org